

## 言葉の務め

= 言葉といのち =

### 1. 言葉を守る (箴言10-13章)

言(ロゴス)を信仰と共に語り出すとき、それはことば(レーマ)として霊であり、またいのちをもたらす。<ロゴス+信仰=レーマ=霊=いのち>

神に従う人(正しい人)の口はいのちの源(10:11) 義人とは信仰の人(ローマ1:17; 3:22; ローマ10:8)

諭を守る人はいのちの道を歩む(10:17) 聞く耳のある者は聞くがよい(マルコ4:9; ルカ8:8; 黙示録2-3章) 信仰は聞くことから(ローマ10:17)

口を制御する(10:19,20) 成功の鍵; 神に従う人の舌は銀(神の裁き)(ヤコブ3:3)

神に従う人の口は多くの人を養う(10:21) 主による五千人の給食

口の言葉の実によって飽き足りる(12:14) 口は心の表現(マタイ12:34; 17:20) 心は信仰の鏡(ローマ10:10)

知恵ある言葉は人を癒す(12:18)

口の言葉が結ぶ実によって良いものを享受する(13:2) それぞれの信仰による(マタイ8:13)

口を見張ることはいのちを守る(13:3) 無益な言葉はいのちを漏らす(例: 溜息の効用)

### 暗証聖句: 箴言10-13章

10:11 神に従う人の口は命の源

10:17 諭しを守る人は命の道を歩み

10:20 神に従う人の舌は精選された銀

10:21 神に従う人の唇は多くの人を養う

12:14 口の言葉が結ぶ実によって / 人は良いものに飽き足りる。人は手の働きに応じて報いられる。

12:18 軽率なひと言が剣のように刺すこともある。知恵ある人の舌は癒す。

13:2 口の言葉が結ぶ実によって人は良いものを享受する

13:3 自分の口を警戒する者は命を守る